

2024（令和6）年度

全戦争死没者追悼法要

7月6日（土）13:25～16:00

本願寺広島別院 広島市中区寺町1-19

★おつとめ（阿弥陀経作法 第二種）

導師：榮俊英

（本願寺広島別院輪番・安芸教区教務所長）

結衆：法要実行委員会

奏楽員：広島雅楽会

献華：龍谷大学留学生

★平和へのメッセージ（崇徳学園生徒代表）

★法話（田阪法雄さん）

★被爆体験証言（才木幹夫さん）

才木幹夫さん（被爆体験証言者）

1932（昭和7）年4月1日生。92歳
旧制広島県立広島第一中学校（現在の国泰寺高校）の2年生の時、爆心地から約2.2キロの自宅で被爆。同じ学校に通う多くの生徒が亡くなる中で、生き残ったことに後ろめたさを感じ、長年、原爆についてほとんど語ってこなかった。しかし、ロシアのウクライナへの侵攻を目の当たりにし、本年4月、92歳で広島市「被爆体験証言者」となり原爆資料館等で被爆体験を語る。

主催：浄土真宗本願寺派 安芸教区

問合先：本願寺広島別院（担当：坂山）

☎082-231-0302

安芸教区

検索



安芸教区 HP

